

寄附講義「会社研究」 第13回目（第12回）

令和2年8月5日（水） 13時10分

講師 大分県中小企業家同友会代表理事

株式会社美装管理 代表取締役

高野 浩子氏（大学34回）

テーマ 「中小企業の経営者の立場から見た

求められる人財とは？」



今回の講師高野浩子先生は昭和61年に経済学部を卒業した四極会の先輩です。

四極会の理事、四極会女性の会「桃優会」会長、(株)美装管理社長、中小企業家同友会代表幹事という多方面で活躍されている立場から話をしてくださいました。

前半は、「四極会」について、会員で活躍している方々の紹介がありました。女性の会「桃優会」についても紹介され、学生のころから先輩との交流をされていて損はないと参加を勧められました。

中盤は社長を務めている「株式会社 美装管理」について、中小企業が生き残るためによそにはない「木部洗い」という特殊技術をもつこと、高齢者雇用についても取り組んでいること等を説明されました。女性経営者として独自性・差別化と取り組んだ挑戦も語られました。

中小企業家同友会代表幹事として地元企業の役割を強調されました。企業が採用する学生を選ぶだけでなく、学生も企業を選べます。その判断基準と

して、**ユースエール企業**の認定を受けているかどうかも就職を考えるときの参考に・・・という助言もありました。この認定を受けるには若者雇用管理について高いハードルをクリアすることが必要です。

コロナ禍のなかでいかに前向きに生きていくか、今就職を考えている学生のために7つの提案をされました。

- ・何事も前向きにとらえ実行すること
- ・まず動く
- ・同じ失敗を繰り返さない
- ・理解できるまで聞き、確実に仕事を終わらせる
- ・頼まれたことはすぐ取り掛かる
- ・「後から」は忘れる
- ・「遅い」はやらないとほぼ同じ

最後に**私のモットー**を示して締めくくられました。

- ・「しなやかに」「したたかに」
- ・常に明るく元気
- ・仕事はすぐに！即決即断！
- ・「先義後利」➡お世話好き、見返りは求めない、好きでやっている・・・
- ・頼まれた役は断らない
- ・出る杭は打たれるが、出過ぎた杭は打たれない➡発言力をもつため役を受ける。会の運営を司る。
- ・「ひと」が大事
- ・過去の自分の頑張りだけが、いざという時の自信になる
- ・「頑張ってきた」という自負以外に自分を支えられるものはない